

業務改善計画一覧（概要版）

No.	チーム名	テ ー マ	目的と現状	改 善 案	期待される効果	実行担当課	振分区分
1	新たな挑戦への道	山岳救助活動における課題を超えて	【目的】 冬期間天候不良の中救助活動を行った山岳事案について検討会を行った結果、救助活動を行う上での課題が挙げられた。 このことから、短期プランと長期プランに分けて山岳事故対応に向けた組織内の改革を含めた業務の整理を行うことを目的とする。 【現状】 山岳救助事案は、指揮隊、消防隊、救助隊、救急隊が当日の勤務編成で事案に対応している。 インバウンドの増加や高齢者の登山者増加などにより、山岳事故が増加傾向にあること、また多様化する山岳救助事案への対応、季節を選ばない山岳救助事案等、山岳事故は今後求められることか多岐にわたると考えられる。 しかし、山形市消防本部の現在の山岳救助への対応は低山がゆえに重要性は低く後回しになってきたことから、以下の課題が挙げられる。 ・現場の個人装備、資器材が山岳活動の障害となっている ・専門性に特化する人材の育成が必要となっている ・高度救助隊が行っている業務は専門性が高く求められるものが多岐にわたっている	短期プラン <u>(隊員の装備や協力体制、安全管理など早期に改善が必要な課題への取り組み)</u> 1 装備関係 ・㈱モンベルとの包括連携協定を活用した装備品の提供の可能性 2 活動関係 (1) 協力体制の構築 ・山岳ガイドの派遣同行 ・ロープウェイ、山岳ガイド、雪上車等の協力体制 (2) 安全管理の積極的な取り組み ・YAMAP アプリを活用したグループ位置共有の活用 ＊豊中市消防局も YAMAP による位置共有システムを導入済み 長期プラン <u>(専門性を高め人材教育等を含めた組織改革)</u> 1 各救助隊の役割の整理 (1) 東消防署高度救助隊：通常災害（救助）、特殊災害 (2) 西消防署高度救助隊：通常災害（救助）、土砂災害（重機） (3) 山岳救助隊（消防隊兼務）：通常災害（火災）、山岳救助 2 指揮隊・消防隊の強化 (1) 指揮隊（指揮体制の確立（人員増）、安全管理体制の強化） (2) 消防隊（消防体制の確立（人員増）、人材育成） ＊指揮隊、消防隊の増員が救助隊員の勤務状況の安定につながる。 3 警防規程の改正 ・山岳救助隊の編成 最終目標 専門的な知識技術を必要とする山岳事故事案に対応できる山岳救助隊（消防隊と兼務）の新規創設	・救助体制の効率化と活動能力の向上 ・安全管理の強化 ↓ ・蔵王を訪れる全ての人に安全・安心を提供	警防課 消防署 総務課	・実行 ・再検討